



2025 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社中村超硬
代表者名 代表取締役社長 井上 誠
(コード番号：6166 東証グロース市場)
問合せ先 取締役管理本部長 田植 啓之
(TEL. 072-274-0007)

中間連結会計期間の連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2025 年 5 月 12 日に公表しました 2026 年 3 月期中間連結会計期間の業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期中間期業績予想と実績値との差異

2026 年 3 月期中間期連結業績予想と実績値との差異(2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 中間期純利益	1 株当たり 中間期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,340	△15	25	△10	△0.91
今回実績 (B)	1,414	△47	1	189	17.17
増 減 額 (B - A)	74	△32	△23	199	
増 減 率 (%)	5.5	—	△93.4	—	
(ご参考) 前期中間期実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	1,526	△10	△19	△25	△2.29

2. 差異の理由

2026 年 3 月期中間連結会計期間の連結業績については、化学繊維用紡糸ノズル事業においては、炭素繊維用ノズルや不織布関連ノズルの受注が堅調に推移し、特殊精密機器事業においては、新規アイテムである新素材で製作した実装機用ノズルの販売は伸長したものの、米国向け自動車関税の引き上げや中国経済停滞の影響を受け、電子部品業界向け、ベアリング業界向け、自動車部品メーカー向けの販売が低調に推移いたしました。また、D-N e x t 事業においては、パワー半導体・半導体市場の低迷の影響を受け、国内大手顧客向けのダイヤモンドワイヤ販売が落ち込むこととなりました。

これらの結果、連結売上高は 1,414 百万円と前回予想値を 5.5%上回ったものの、原材料・外注加工費の上昇やエネルギーコストの高止まり、従業員の処遇改善施策の実施によるコスト増加要因、価格改定や製造原価低減、経費削減等による利益増加要因を上回ったため、営業損失は 47 百万円と

なり前回予想値から損失が拡大する結果となり、経常利益についても1百万円と前回予想値から縮小する結果となりました。また、2025年8月12日にお知らせした通り、第1四半期連結会計期間において江蘇三超社との国際仲裁における仲裁判断（中間判断）に基づき、特別利益207百万円を「固定資産売却益」として計上したことにより、親会社株主に帰属する中間期純利益は189百万円と前回予想値を大きく上回る結果となりました。

第3四半期以降については、江蘇三超社との仲裁手続きが継続中であり、当社が江蘇三超社に支払うべき金額が未決定であることから、2026年3月期通期業績につきましては前回発表した業績予想値を据え置くことといたします。今後の仲裁手続きの進捗や、市場・業績動向により修正の必要が生じた際には速やかに開示いたします。

※上記の業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因により上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上